

自校の調査結果をチェックしましょう！

今回の結果からみられる自校の課題を取り上げ、「3つの見届ける」を徹底しましょう。

《自校の課題として取り上げたい問題》

平均正答率 県 (%) 自校 (%)

★課題となっていることの要因や背景

1 児童生徒の実態から

2 教師の指導から

☆指導上の改善点（見届けの徹底を図るための場や方途）

国語の授業では

【平成27年度全国学力・学習状況調査で課題のあった設問と同一、類似問題の正答率】(国語)

問題番号	平成27年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			平成27年度全国学力・学習状況調査			
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県	全国
小4 ㊦(1)	漢字を正しく書くことができる。 「びょういん」	. %	58.9%	A11-3	. %	72.8%	74.9%
小5 ㊦(3)	漢字を正しく書くことができる。 「あびる」	. %	55.4%	A11-1	. %	52.8%	58.4%
中2 ㊦6	漢字を正しく書くことができる。 「あまった」	. %	70.1%	A9-3	. %	68.6%	70.9%
小4	㊦(3) 漢字を正しく読むことができる。 「浴びる」	. %	97.9%	A11-1	. %	52.8%	58.4%
	㊦ 文の中における主語をとらえることができる。	. %	77.7%	A21-	. %	43.9%	53.1%
小5	㊦ 文の中における主語をとらえることができる。	. %	57.0%	A21-	. %	43.9%	53.1%
	㊦五 引用の約束について理解することができる。	. %	31.9%	A51-	. %	16.9%	19.8%
中2	㊦二 表現の技法を正しく理解している。	. %	44.3%	A31-	. %	57.7%	58.3%
	㊦二 3 単語の類別を正しく理解している。	. %	28.1%	A91四②	. %	36.0%	33.7%

平成27年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査 <国語>

概要

小学校第4学年

県平均正答率 75.6%
 A問題 83.4%
 B問題 65.8%
 自校平均正答率 [] %
 A問題 [] %
 B問題 [] %

小学校第5学年

県平均正答率 65.0%
 A問題 72.1%
 B問題 58.0%
 自校平均正答率 [] %
 A問題 [] %
 B問題 [] %

中学校第2学年

県平均正答率 66.8%
 A問題 63.6%
 B問題 70.0%
 自校平均正答率 [] %
 A問題 [] %
 B問題 [] %

こんな成果がみられました

<小学校>

◆ことわざや慣用句の意味を知り、正しく使うことができるようになる指導の成果が表れています。

この指導が掲載されている資料

- 「これだけの子ども！学プリ第2弾（ことわざ・故事成語・慣用句）」（平成27年12月）
- 平成26年度指導改善説明会 学校支援課説明資料2（岐阜県総合教育センターHP掲載）

平成27年度県学習状況調査の結果から

- ◆小学校第4学年 四（慣用句） 県 69.5% 自校 %
- ◆小学校第5学年 五（ことわざ） 県 78.9% 自校 %

過去の類似問題の結果から

- H26 全国調査 小学校A21（故事成語）
 一 国 55.8% 県 43.5% 自校 %
 二 国 49.9% 県 49.5% 自校 %
- H26 岐阜県の学習状況調査
 ◆小学校第4学年 五（慣用句） 県 63.2% 自校 %
 ◆小学校第5学年 五（故事成語） 県 48.6% 自校 %

<中学校>

◆文章と資料とを関係付けたり、自分のものの見方や考え方を広げたりする指導の成果が表れています。

この指導が掲載されている資料

- 子どもの目線に立つ2015 第1弾（平成27年5月）
- 子どもの目線に立つ2015 第2弾（平成27年9月）

平成27年度県学習状況調査の結果から

- ◆中学校第2学年 四四1（考えの形成） 県 84.4% 自校 %
 - 四四2（情報の読み取り） 県 79.8% 自校 %
- イ【生活排水と、魚が住める水質にするために必要な水量】
-

過去の類似問題の結果から

- H27 全国調査 中学校B21三（情報の読み取り） 国 23.0% 県 27.7% 自校 %
- H26 岐阜県の学習状況調査
 ◆中学校第2学年 三1（考えの形成） 県 81.9% 自校 %
 三2（情報の読み取り） 県 76.4% 自校 %

各学校において、多様な教材や資料を活用した国語の授業が行われています。

学校質問紙「国語の指導において、多様な教材や資料を活用して指導していますか。」

※①「当てはまる」、②「どちらかといえば、当てはまる」の割合

【小学校】81.2%(H26)→89.1%(H27)

【中学校】92.5%(H26)→97.3%(H27)



国語 調査結果と指導の改善

文の構成や単語の類別について正しく理解し、適切に使う指導を行っていますか。

調査結果 設問及び平均正答率

- ◆小学校第4学年
 - 六 文の中における主語をとらえることができる。 県 77.7% 自校 %
- ◆小学校第5学年
 - 七 つなぎ言葉を使って一文を二文に分けて書くことができる。 県 14.6% 自校 %
※接続語を使って複文を二文に分ける時、主語に注目して書くことに課題がありました。
- ◆中学校第2学年
 - 二3 単語の類別を正しく理解している。 県 28.1% 自校 %
※文中における単語の働きや、主語になる品詞を理解することに課題がありました。

指導改善のポイント①

【小学校】 文の要点を理解したり、相手に伝わるように話したり書いたりするために、一文を構成する「主語」「述語」について、くり返し確認できるようにしましょう。

「述語」に対し、「だれが(は)」「何が(は)」に当たる言葉(文節)が「主語」になります。ただし、「主語」がいつも「〇〇が(は)」で示されるとは限りません。「彼も努力家だ。」の「彼も」も「主語」になります。例を示しながら指導しましょう。

授業では、教材文の中から一文を取り上げ、「主語」「述語」はどれかを確認することで要点をつかめるようにしたり、自分が書いた文章について「主語」「述語」はどれかを明確したりする学習が考えられます。さらに、「誰が」「いつ」「どこで」「何を」「どのように」といった文の構成について意識しながら表現する活動を取り入れ、交流場面や発表場面でも、相手に正しく伝わるように、文の構成要素を整えた話し方ができるよう指導することが大切です。



【中学校】 自分の考えを正しく相手に伝えるために、文の構成や仕組みを確かめる活動を位置付けましょう。

④ 修学旅行新聞の他の記事の写真に、富士山が美しく感動したことが伝わるようなキャプションを付け、どのキャプションがよいかを話し合う。

(修学旅行新聞の他の記事)

車窓からの景色

「美しい富士山に感動」はどうか。
「富士山の美しさに感動」した方が、美しく感動したことがより伝わるのではないかな。
「感動」につながる言葉が「富士山」から「美しさ」になることで印象が変わるね。
「美しい」は形容詞だけど、語順を変えると「美しさ」という名詞になるね。
単語の語順などについて検討し、それぞれの単語がどのような働きをしているかについて考えることは、自分の伝えたいことをより効果的に表現することにつながります。

正しく伝えるために、普段使っている言葉を振り返り、どのような構成や仕組みになっているか、十分に理解することが大切です。文を構成している単語を正しく類別するために、単に文法的な知識として教え込むだけでなく、それぞれの単語が文の中でどのような動きをしているかを考えながら理解を深める必要があります。



授業では、どのような語順にすると効果的に伝わるか検討することも有効です。例えば、新聞や作文の見出しや写真のキャプションを付ける時に、「美しい」と「美しさ」のように品詞の異なる単語を入れ替えたり、語順を変えたりすることによって、伝わり方や意味がどのように違うかを考える活動等が考えられます。

「平成27年度【中学校】授業アイデア例」(国立教育政策研究所) P4

習熟問題(例: 全国学力・学習状況調査 過去問題に挑戦)

次の文章の①と②に当てはまるものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

私は伝えたい内容が明確になるように、次のアの文をイの文に変えました。イの文の方が、器の色が特に目を引き付けたことが伝わります。これは「青い」という①を、「青さ」という②に変えて、主語にしているためです。

ア 大きな青い器が私の目を引き付けた。→ イ 大きな器の青さが私の目を引き付けた。

- 1 名詞 2 動詞 3 形容詞 4 形容動詞
(H27 全国学力・学習状況調査 中学校第3学年国語A⑨四)

目的や意図に応じて根拠を明確にし、適切に書く指導を行っていますか。

調査結果 設問及び平均正答率

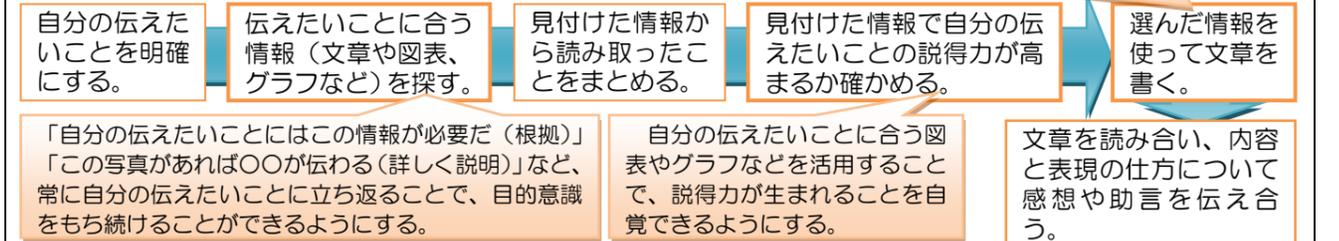
- ◆小学校第4学年
 - 九三 目的に応じて、理由をあげて書くことができる。 県 34.3% 自校 %
※【条件】としての【取材メモ】の内容を使って書くことに課題がありました。
- ◆小学校第5学年
 - 九四 取材した内容の中から適切に引用し、条件に合わせて記述することができる。 県 27.8% 自校 %
※【条件】としての引用すること、必要な内容を書くことに課題がありました。
- ◆中学校第2学年
 - 三三 伝えたい事実や事柄の根拠を明確にし、効果的な文章を書くことができる。 県 44.4% 自校 %
※【条件】としての具体的な数値を示して書くことに課題がありました。

指導改善のポイント②

【小学校】 自分の伝えたいことに必要な文章や図表、グラフなどを用いて文章を書く指導をしましょう。

<書く能力を高める単元の学習>

目的や意図に応じて、詳しく書いたり、簡単に書いたりする。



※引用するときには、元の言葉や文をそのまま使い、かぎ(「」)を付けるなどして区別することや、引用元の書名や資料名、筆者名などを書くというルールを指導します。 ※「平成27年度【小学校】授業アイデア例」P6

日常の授業でまとめを書く際に、「どのようにまとめることができそうか」「仲間の意見に共通する言葉はどんな言葉か」などと尋ねた後、「学習課題に対してまとめるためにはこの言葉が必要だ(ふさわしい)」のように、自分の伝えたいことに合う言葉(事実)があることを意識して書かせることが有効です。また、必要に応じて、引用のルールを使って書かせることも考えられます。



【中学校】 多様な情報に触れながら、自分の考えをもつ学習をしましょう。

文章や図表、グラフなどの多様な情報から分かる事実を関係付けて自分の考えを書く学習を充実します。その際、交流や記述の活動の中で、それぞれの資料に書かれていることを正確に理解することや、自分の考えを具体的に書くことを大切にします。

※「平成27年度【中学校】授業アイデア例」P7~8

習熟問題(例: 岐阜県における児童生徒の学習状況調査 過去問題に挑戦)

田中さんは、調べて分かった「長良川の鶴匠にはだれでもなれるわけではない。」「長良川の鶴匠は親から子へ受けつがれていく制度になっている。」という内容を使って文章を書こうと考えました。後の《条けん》に合わせて書きましょう。(H26 岐阜県における児童生徒の学習状況調査 小学校第5学年⑦三)

長良川の鶴匠では、だれもが鶴匠になれるわけではありません。なぜかという、長良川の鶴匠は、

《条けん》
「なぜかという、長良川の鶴匠は、」に続くように書く。
理由を表していることが分かる文末表現にする。
二十字以上、三十字以内で書く。

★過去問題に挑戦 ~全国学力・学習状況調査より~

- ◆小学校第6学年
 - H25B②三「目的や意図に応じてリーフレットを編集する」
 - H26B①三「立場や意見をはっきりさせながら討論する」
- ◆中学校第3学年
 - H25B③三「資料を参考に、漢字について考える」
 - H26B③三「落語を味わう」